

お客様からのコメント

静岡 T様より

隆資さん、貴子さん、明美さん、お元気ですか？いつも楽しく大和魂を読ませて頂いています。早いもので、もうすぐ1年になりますね。こちらは、相変わらず制作と教室で忙しく働き廻っています。来年は教室の合同展があるんですよ。どうぞ、皆さんお元気で！！

●ありがとうございます！

T様もお元気ですか？こちらは、元気で過ごしております。頂戴した絵は、お気に入り、リビングに飾らせて頂いています。また、素敵な作品も拝見したいです(*^^*)尾道に来られた際は、一緒にラーメンを食べるのを楽しませて頂いております。 **中堀**

ブルーレイド様より

刃文がこんなにも細分化されている事に驚きました。丁子も植物だとは思いませんでした。非常に勉強になります。記事を書き続けるのも、大変だと思いますが、楽しみにしていますので頑張ってください。

●ありがとうございます。

色々な種類の刃文の由来や意味がある事を知るのとはとても楽しいです！これからも、喜んで頂ける、内容の深い記事をお届けできるように頑張ります。次回も楽しみにしててください。

島谷

ぽっぽ様より

長年に渡りNHKを送って頂き、何よりずっとこのような、内容の濃いものを作成し続ける事は本当に大変だと思います。日本刀を取り扱う、私にとっても知らなかった事や興味のある内容が盛りだくさんで毎回楽しみに拝見しています。丁子が番に由来するとは知りませんでした！タイムスリップのエピソードも面白かったです。社員さんの楽しそうな顔写真がある事で、日々頑張っておられるのが伝わり、陰ながら応援させて頂いております。次号も楽しみにしております。

●ありがとうございます。

こうして、ニュースレターを続けられるのも、ぽっぽ様のような励みになる、心温まるコメントを頂戴しているからです。本当にありがとうございます。これからも、面白い！！なるほど！！マニアック！！と思って頂けるように僕自身も学んでいきます。今後共、どうぞよろしく願い致します。 **花本**

届けますっ！大和魂 2020年4月 Vol.35


経営理念

有限会社大名は「届けますっ大和魂！」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

世界的に新型コロナウイルスの流行で多くの方が自由を奪われ、戸惑われている方もいらっしゃるのではないでしょうか。一刻も早い終息と、皆様(貴方様)が息災でありますように、心より祈念しております。

我が家の鬼はゴリラ!?

こんにちは。中堀明美です！
2月の事になりますが、皆様、今年の節分は豆まきをされましたか？わが家では娘(叶笑)が4歳頃まで、鬼を怖がって必死に豆を投げつけていましたが、5歳頃になると「鬼、怖くない！」と冷めた一言。確かに、ここ最近の鬼のお面は表情が笑ってたりします。どうやったら、怖い鬼になるかな〜？と夫に相談すると・・・まさかの、ゴリラ姿で登場！




ウホッ♡

節分

夫から何も聞いてなかった私も、本気でびっくりし、「わーーーーっ!!」と叫ぶと、その瞬間、娘は大号泣(汗)。息子(大志)は、さすがに豆を取り、ゴリラへ投げつけました。その姿を見て、娘も投げ始め、鬼は…いやゴリラはこっそり逃げて行きました。息子の勇ましい姿に感動です!!「怖くなかったの？」と聞くと、「うん、お母さんが怒る方がよっぽど怖いし、来年の鬼役はお母さんがしたらいいじゃん!!」と無邪気な笑顔で言っていました…。


鬼 < ゴリラ(お父さん) < お母さん 来年は私がゴリラ…いや鬼役になるかと思っています。



大成功♪

節分の起源…

奈良時代、文武天皇の慶雲(706年)に諸国で、疫病が流行したそうです。病疫を追い払うために旧暦の大晦日(2月3日頃)夜に追儺(鬼儺)の儀式を行ったのが起源とされています。「豆まき」としては、平安時代の宇多天皇の頃(887年~897年)に、僧正ヶ谷に住んでいた鬼が、都に乱入しようとしたので、豆を投げ鬼の眼を潰して回避したと言われていました。「魔の目(魔目=まめ)」に豆を投げつけて「魔を滅する(魔滅=まめ)」になることから、豆まきとなったそうです。やがて室町時代には、現在のように「鬼は外~福は内~」と唱えながら豆をまくという形になりました。



祝! 15周年

お陰様で、大名は15周年を迎える事が出来ました。

これもひとえに皆様(貴方様)のご最良、ご支援の賜物と感謝しております。これからもスタッフ一同、皆様により一層ご満足頂けますよう真心をこめて業務に専念する所存でございます。今後とも、宜しく願い申し上げます。

令和2年3月~6月末までの間、当社ホームページで購入された方のみ下記の特典をプレゼントさせていただきます。

- 胸、胴袖セット、甲冑を購入された方に、特典として**購入商品1点につき、鏡立1脚プレゼント!**
- 兜を購入された方に、特典として**購入商品1点につき、兜立1脚プレゼント!**
- 刀、脇差、短刀を購入された方に、特典として**購入商品1点につき、刀の御手入れ道具1箱プレゼント!**
- その他、購入された方に、特典として**購入商品1点につき、価格より5%OFFとなります。**

皆様、この機会に是非とも当社ホームページで御買上げ下さいませ。



新春 お年玉プレゼント 当選発表!!

2月号掲載「新春お年玉プレゼントクイズ」での問題
かけっこをしています。あなたは3位の人を抜きました。今あなたは何位でしょう?

正解は3位でしたあ〜!!
2位かな?!と思ってしまう、ちょっとひっかけですよ!!

抽選の結果「大和魂」からは…

サイクロンスティッククリーナーです!!

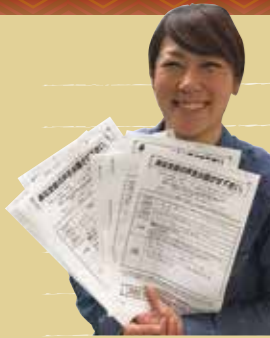
沢山の応募の中から当選されたのは
愛知県 こんぴらさん様です!
おめでとうございます!! 近日中にお届け致します。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。 件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。

最新情報はホームページ <https://daimyou.com/>

有限会社 **大名** 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937





こんにちは、島谷貴子です。
こんなに沢山のコメントありがとうございます！

「丁子の説明がとても分かりやすく、刃文の写真での説明がとて良かったです。刀にオイルを使う事は知っていたが、雷に似ているからとは初めて知りました。」
「丁子の刃文についてとても分かりやすく勉強になりました。こんなに種類が沢山あることを知りませんでした」「明解なイラストで、とても分かりやすく良かったです。」
「刃文の丁子乱の種類と写真はとても面白く、ためになりました」「実によくできました！花まるです」

等々嬉しいコメントを沢山頂きました。ニュースレターを読んで頂いている事、とても嬉しく思います。更に充実したニュースレターにしていきますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。今回は、「乱刃」の「皆焼刃」について語らせて頂きます。

語ります
大和魂

主な乱れ刃

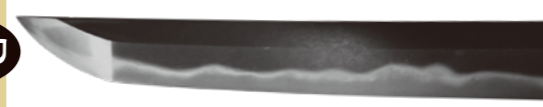
これらの刃文がいくつか混ざり合い、数十種類にもなると言われています。

- 湾れ刃 (のた)
- 互の目刃 (ぐのめ)
- 丁子刃 (ちようじ)
- 皆焼刃 (ひたつら)
- 矢筈刃 (やはず)
- 箱乱刃 (はこだれ)
- 簾刃 (すだれ)
- 瓢箪刃 (ひょうたん)
- 数珠刃 (じゆず)
- 濤瀾刃 (とうらん)
- 菊水刃 (きくすい)

皆焼とは

地中の細かい模様「飛焼」(※Vol.30語ります参照)が、刀全体に広がった刃文のこと。

乱れ刃



皆焼



皆焼と書いて、「ひたつら」と呼びますが、「ひた」とは「すべてみんな」、「つら」とは「おもてめん」を意味し、刃全体の面に、焼入をしたことから皆焼と呼ばれるようになりました。

いつから?

相模(別名:相州、現:神奈川県)で、南北朝時代に始まったとされています。実践向きの強靱な刀にする為に、鋼の組み合わせ・焼入の温度によってできたとされています。南北朝時代の相模国広光・秋広らが、確立していきました。

皆焼=相州だけではない?!

刀の強靱性、斬新な刃文は、各地の刀工に影響を与えていきました。

戦国時代	やましろ 山城国	はせべ くにしげ 長谷部国重 はせべ くにのぶ 長谷部国信		刃中の金筋、砂流しの働きが多い
戦国時代	ひぜん 備前	すけさだ 祐定		相州伝より、焼入の温度が低い為、飛焼の働きが控えめ
室町後期	みの 美濃	みのこくせきじゆうかねたね 美濃国関佐兼種		美濃伝特有の尖り刃を生かした皆焼
江戸時代	えちぜん 越前 たんば 丹波	えちぜんやすつく 越前康継 たんばかみよしみち 丹波守吉道		激しい皆焼ではなく、ゆったりとした皆焼

刃文が生きて動いているように見え、誰しもが魅了されてしまったのかも知れませんね...

私は、皆焼は相州独自の刃文だと思っていました。なぜなら、焼入の温度が高い飛焼が刀全体に広がった刃文だからです。しかし、「これは素晴らしい刃文だ!」と各地の刀工たちが、自身の技術と経験を生かし、相州とは違う、鋼・温度・水の質・焼入の温度の中で独自の皆焼刃を造り上げられていったことに感動しました。これぞ、職人技!そして一振り一振りがとても貴重な刀であることを改めて知り、このニュースレターでもっと伝えていければと思います。厳しいご意見もお待ちしておりますので、どしどしお寄せください。



ハナエモンの

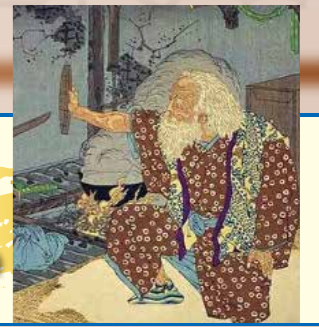
ターイムスリップ!

今号はお客様からリクエストがあったこの方にターイムスリップ! マニアックなリクエスト、ありがとうございます!

剣豪・宮本武蔵より
マイナーだけど
実力は上!!!

剣聖 **塚原ト伝**

つかはら ぼくてん
1489年~1571年



無敵の男

現代にも続く、新当流の創始者になるト伝は、17歳の頃から武者修行で日本各地を回りました。その武者修行での戦績は、真剣試合19回、戦場参加37回、討った敵の数212人と云われています。それだけの戦いの中で負った刀傷はゼロ!矢傷が6カ所だけだったそうです。

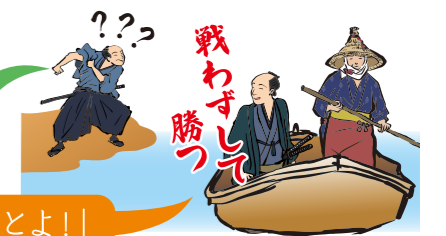


ト伝の弟子と云われているのは、13代室町幕府将軍:足利義輝、肥後細川家の礎を築いた細川藤孝、伝説の軍師:山本勘助、居合(抜刀術)の始祖:林崎甚助など、凄い人達ばかりなんです。

無手勝流

ある時、渡り船に乗っていたト伝。一緒に乗っていた客から決闘を持ちかけられます。戦うのが面倒なト伝がはぐらかしていたのですが、相手が中々にしつこい。「そこまで言うなら、あの小島で一本だけやりましょう」と、二人で小舟に乗り換えます。二人が乗る小舟が島に近づくと、早く戦いたい相手は、島に飛び移ります。

「さあさあ、やりましょう!やりましょう!あれ??え??なんで...」
ト伝は彼を島に残し、船を別方向へと漕いでいきます。



「ハーハッハッハッハッ!これが戦わずして勝つということよ!」

戦わずに勝つ、被害を最小限にして勝つことを大切にしていたト伝らしい逸話ですね。



他にも、3人の養子の中から後継ぎを決める際にも、こんなエピソードが残っています。皆さんも学生時代に同じようないたずらをされた記憶はありませんか。襦を開けると木枕が落ちてくる仕掛けをして、3人をそれぞれ呼んだのです。三男は、落ちてくる木枕を真二つに切って入室。次男は、落ちてくると後ろに下がり、落下物は何かを確認し入室。長男は、仕掛けを見破ると木枕を抜いて、襦を開けて入室。これを見たト伝は、長男に家督を譲ったそうです。

